

平成25年度協働のまちづくりモデル事業（集落・町内会・自治会対象枠）申請一覧

合計 2 件 （城端 2件、平 0件、上平 0件、利賀 0件、井波 0件、井口 0件、福野 0件、福光 0件）

※人口及び世帯数は6/1現在

No.	1. 地区名	地域名	3. 事業実施期間	4. 地域の概要	5. 地域の現状と課題	6. まちづくりの基本方向	7. 事業計画 (右側事業費内訳は単位：千円)
1	是安自治振興会	城端	25年度～28年度	<p>③文化振興事業 ⑦その他「地域の活性化事業」</p> <p>①世帯数80戸、人口311人、(高齢化率37.6%)</p> <p>②農家52戸(うち営農組合員47戸)、非農家28戸。農家全体の96%が営農組合員で、営農組合による稲作経営を行っている。稲作技術の高い地区である。</p>	<p>(伝統文化)現在、神明宮春祭の神輿巡行、ねつおくり祭、是安会、左義長等伝統行事を催している。神輿巡行は4年前、ねつおくり祭は15年前に復活させた。是安会は平成27年に100回を迎える。しかし、どの行事も少子高齢化により年々参加者が減少し、内容もマンネリ化してきている。若い世代の人たちにも、これらの地域の行事に積極的に参加してもらい文化を継承していく必要がある。</p> <p>(地域事業)営農組合による稲作経営を行っているため、子供たちが農作業に関わる機会が少ない。将来の農業の担い手として、若い世代に農作物の収穫までを体験してもらう機会を作り、農業に親んでもらう。そこで収穫した農作物を伝統文化行事に使用することで、伝統文化行事と地域農業を運動して発展させていくことが必要だと考える。また、これらの各事業に対しては、隣接する末広自治会の方にも参加してもらうことで参加者を増やし伝統を維持していく必要がある。</p>	<p>①振興会員が楽しく参加できる事業の実施</p> <p>②親子による農業体験を実施し、収穫した野菜、もち米等を各事業で活用する。隣接する末広自治会の親子にも、野菜作り、田植え～稲刈りまでを体験してもらう。</p> <p>&lt;収穫した農作物の活用&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・神明宮春祭り →もち米による赤飯</li> <li>・ねつおくり祭り →野菜</li> <li>・是安会 →黒豆飯</li> <li>・左義長もちつき →もちつき</li> </ul> <p>③伝統文化保全委員会を設立し行事の内容を充実させる。</p>	<p>[平成26年度]</p> <p>&lt;農業体験&gt;</p> <p>親子による農業体験の実施。野菜(なす、とまと、トウモロコシ)やもち米の栽培、収穫、稲刈り等の農業体験。</p> <p>&lt;伝統行事の体験&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に伝わる伝統行事「ねつおくり祭」、春祭の神輿巡行を、隣接している末広集落と合同で開催する。伝統行事についてまなぶ講習会の開催。</li> </ul> <p>[平成27年度]</p> <p>&lt;農業体験&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親子による農業体験の実施。野菜(きゅうり、すいか、うり、黒豆)の栽培、収穫等の農業体験。</li> <li>・地域に伝わる伝統行事「ねつおくり祭」や「左義長」春祭の神輿巡行を、隣接している末広集落と合同で開催する。伝統行事についてまなぶ講習会の開催。是安会100回記念行事を開催する。</li> </ul> <p>&lt;伝統料理教室&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に伝わる伝統料理を、農業体験にて収穫した作物を利用し、地域の高齢者を講師として親子料理教室(もちつき)を行う。</li> </ul> <p>[平成28年度]</p> <p>&lt;農業体験&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親子による農業体験の実施。野菜(きゅうり、すいか、うり)の栽培、収穫、稲刈り等の農業体験。</li> <li>・地域に伝わる伝統行事「ねつおくり祭」や「左義長」、春祭の神輿巡行を、隣接している末広集落と合同で開催する。伝統行事についてまなぶ講習会の開催。是安会について今後とも継続されるよう勉強会を開催。</li> </ul> <p>&lt;伝統料理教室&gt;</p> <p>地域に伝わる伝統料理を、農業体験にて収穫した作物を利用し、地域の高齢者を講師として親子料理教室(もちつき、赤飯づくり、野菜を使った伝統料理教室)を行う。また、伝統料理の歴史を学ぶ講習会を開催する。</p> <p>*「是安会」青年会が中心となり1年間に死亡された方の追悼法要を宗教に関係なく村行事として行っている。5～6年前までは各組長さんの家で行われていたが近年は家が近代化され50～60人も収容できなくなり、今はお寺を借りて行っている。</p>

平成25年度協働のまちづくりモデル事業（集落・町内会・自治会対象枠）申請一覧

合計 2 件 （城端 2件、平 0件、上平 0件、利賀 0件、井波 0件、井口 0件、福野 0件、福光 0件）

※人口及び世帯数は6/1現在

No.	1. 地区名	地域名	5. 地域資源を活かした「まちづくり事業」	3. 事業実施期間	4. 地域の概要	5. 地域の現状と課題	6. まちづくりの基本方向	7. 事業計画 (右側事業費内訳は単位：千円)
2	南砺市理休地区自治会	城端	⑤地域資源を活かした「まちづくり事業」	25年度～28年度	<p>人口 460 世帯 145</p> <p>①世帯数145戸(理休団地を除く)、人口460人 ②全農家加入の営農組合による稲作を営行っている。また、麦作の後作として「そば」を作付けするなど生産意欲や営農技術は高い。 ③当地区では昭和初期まで用水を利用した「水車」が脱穀等の動力源として回っており、豊かな里山の景観を育んできた。平成3年に当地区熟年仲間4人が「遊び心」から「水車」を復活し、当地区住民を中心とした「城端水車の会」が発足し現在に至っている。</p>	<p>・当地区においても農業世帯の高齢化が進んでいるが、農作業の協働を推進し、省力化を図っている。 ・平成3年5月に自転車の廃材を利用した「からくり水車」を第1号として最盛期には約40基の「からくり水車」等が当地区内に設置され「水車の里」として小学生の学習の場として、またマスコミ等にも取り上げられ、大勢の観光客が訪れるようになった。 ・「水車」の修理等については「城端水車の会」で対応してきたが、製作後20年以上を経過した「水車」もあり、抜本的な対策が必要となっている。また、「城端水車の会」のメンバーも高齢化が進んでおり、技術の伝承や維持そのものが課題となっている。</p>	<p>①地区のシンボルである「水車」と「そば」を通して、地区住民が楽しく参加できる事業を実施 ②地区児童による「そば」の栽培、刈取り等の農業体験を実施 ③「茅葺き」による水車ン」屋を修復し「そば挽」を行うとともに「そば打ち道場」等を開催し、非農家の割合(3/4)が圧倒的に多い地区住民と農家との交流をより深める事業を実施。 ④経年劣化による「水車」の修復等を進めるとともに「水車ロード」の環境整備を行い、地区住民等の憩いの場を整える。</p>	<p>[平成26年度] &lt;農業体験&gt; ・地区児童による「そば」の栽培、刈取り等の農業体験を実施する。 &lt;そば打ち道場&gt; ・自分たちで作った「そば粉」によるそば打ち道場を開催し、地域住民の交流を深める。 &lt;絵画コンクール&gt; ・地区児童等による地区景観の絵画コンクールを実施する。 &lt;茅葺水車修復&gt; ・茅葺水車を修復し「そば挽」を行い、そば打ち道場に提供する。</p> <p>[平成27年度] &lt;農業体験&gt; ・地区児童による「そば」の栽培、刈取り等の農業体験を実施する。 &lt;そば打ち道場&gt; ・自分たちで作った「そば粉」によるそば打ち道場を開催し、地域住民の交流を深めるとともに技術の向上を図り、地区内の福祉施設や「ふれあいサロン」等各種催事に「そば」を提供する。 &lt;からくり水車アイデア募集&gt; ・地区児童等から新しい「からくり水車」のアイデアを募集する。 &lt;水車等修復&gt; 経年劣化等による水車等の修復を行う。</p> <p>[平成28年度] &lt;農業体験&gt; ・地区児童による「そば」の栽培、刈取り等の農業体験を実施する。 &lt;からくり水車製作&gt; 平成27年度に募集した「からくり水車」のアイデアにより新しい「からくり水車」を製作する。 &lt;収穫祭&gt; ・地区の各種催事や地区内の福祉施設に「そば」を提供する。</p> <p>講師謝礼、材料等 80千円 賞品等 20千円 修理代 300千円 講師謝礼、材料等 100千円 賞品等 30千円 修理代等 270千円 製作費等 300千円 材料費 100千円</p>